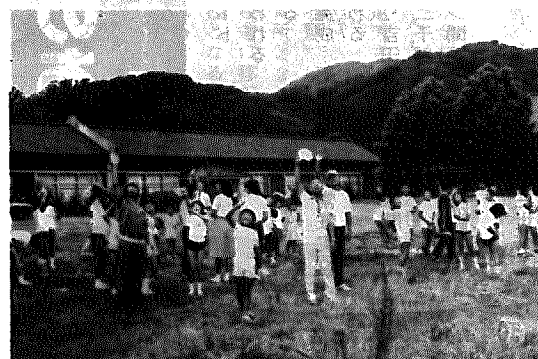


日本列島 クリーン 大作戦

「間瀬海岸を美しく」を合言葉に、間瀬子ども会と育成会員が今年三回目の浜清掃を行いました。当日は朝七時からあき缶、あきビン、流木などを中心に約二時間のクリーン作戦を展開。子どもたちは、この浜清掃で流した汗をとおして「一人一人がごみをきちんと始末すれば、もっと美しい環境が作れる」とを確認したようです。



空から交通安全PR

「こしかぜ」が間小を訪問

先月16日(土)、夏休みを前に開かれた交通安全教室に参加するため、県警のヘリコプター「こしかぜ」が間瀬小学校(斉藤幸夫校長、児童57人)を訪問。午前10時、時折、小雨のバラつくあいにくの天気ながら巻警察署長さんらを乗せたヘリコプターは、村の研修所(旧七浦荘)グラウンドに着陸。児童会長の柏木龍子さんが「交通安全5つの誓い」を宣言したあと、児童のほか、地区民も交ってヘリコプターを見学。とくに、初めて近くでヘリコプターを見る低学年や地区のお年寄りは大喜び。約1時間後一指導を終えて離陸したヘリコプターは空中からスピーカーで「間瀬小学校のみなさん、道路を渡る時には手をあげてください〜さようなら」とPR。陸上では、みんな手でふって「こしかぜ」にお別れ……。

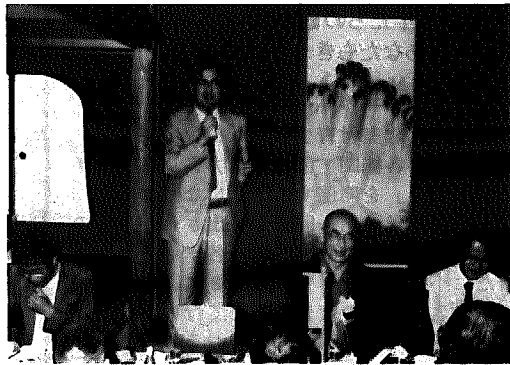


もみじも移転!?

旧役場前で二十年も四季の色を楽しませてくれた「もみじ(べにすだれ)」が庁舎の移転に伴い(1)新しい庁舎前に移植されました。同様に移された村の木「月桂樹」、松などとともに、みなさんを

ミニバイクで交通安全パレード

先月21日から今月20日まで、夏の交通事故防止運動が展開されています。そのPRのため、先月22日、巻地区交通安全協会の皆さんがミニバイクで村長を表敬訪問し、知事からのメッセージを手渡し、事故防止を呼びかけました。



将棋ファンは大喜び

サンケイ新聞社主催の「第42期棋聖戦」第3局が先月5日、岩室の「高島屋」で行われ、棋聖戦の地元開催に村内の愛好者をはじめファンは大喜び。対戦前日の4日夜に開かれた前夜祭には、金子村長、藍沢議会議長も招かれ、中原棋聖(中央)、森安八段(右端)、立合人の原田九段、芹沢八段らを囲んで和やかなひとときを過ごしました。対戦の結果は森安八段が勝ち、中原棋聖2勝、森安八段1勝となりました。



たのしいなあ!!

先月一日(金)村民体育館で親子スポーツ教室がありました。この日参加したのは和納保育園と和納第二保育園の年長組の親子。お父さんに「かたぐるま」されて、ほんとうに楽しそう……。

育て!! 友情

今年から姉妹校に
間瀬小学校と栃窪小学校

間瀬小学校(斉藤幸夫校長・児童57人)と南魚沼郡塩沢町の栃窪小学校(内山昭三校長・児童33人)は今年から姉妹校の縁組を結び、相互交友の第一歩として、先月二十四日(日)から三日間、栃窪小の子どもたち十八人(四年生以上)が間小を訪れました。間瀬小学校は昭和四十八年から十年間、六日町の欠之上小学校と交歓会を続けていました(広報いわむろ／昭和五十六年三月一日の第二二七号で特集)が、今年三月いっばいで統合閉校されたため、栃窪小学校と新しく交歓することになりました。初日の二十四日は午後から体育館で歓迎会が行われ、両校の児童会長のあいさつの

あと、自己紹介(写真)。それぞれ初対面とあって、うれながらも元氣よく交歓していました。「海の生活、山の生活と環境はまるで違うが、それぞれの生活を体験することに広い視野をもった人間に育ってほしい。また、分宿により、心のふれあい」という人間関係の大切さを知ってほしい(斉藤校長)。

「小規模校のもつ、社交性の乏しさを解決し、ここで結ばれた友情が将来大人になっても地域のつながりとして続いてくれたら(内山校長と学校側の期待も大きい。また、交歓会にはPTAも全面的に協力し、五、六年生の各家庭に受け入れをしてください。来年二月にはこんどは間小の子どもたちが、雪の栃窪を訪れることになっています。育て!! さわやかな友情——。

今年も出番!!

先月十五日、シーズン幕開けを前に下山海水浴場と田ノ浦海水浴場(写真)にテント張りの観視所(救護所)が建てられました。観視所はきりきりなどの応急手当のほか、巻警察署の臨時派出所にもなります。



大切にしてください

「もう、お手元に届いていますか?」これは、(株)商工出版(新潟市)のご協力により役場庁舎完成記念として全家庭に無料で配布したものです。広報を大切に綴って保存してくださいネ。

